

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

熊本県 大津町

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(㎥/日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(㎥)
法適用	工業用水道事業	4,700	極小規模	1	3,310
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(㎥/日)	管理者の情報	
-	97.5	6	3,950	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
令和元年度に新たな水源整備に投資したことにより減価償却費が上昇したが、経常収支比率は100%以上であり良好です。
- ②累積欠損金比率
累積欠損金は発生しておりません。
- ③流動比率
類似団体と比較しても大幅に高い数値を示しており、短期的な支払能力は十分備わっています。
- ④企業債残高対給水収益比率
平成13年度を最後に借入を行っておらず、また、その償還が進んでいることから類似団体と比較しても大幅に低い数値となっています。今後は新たな水源設置も視野に入れ企業債の借入について検討して行きます。
- ⑤料金回収率
100%以上であり、給水に係る費用を給水収益で賄えています。
- ⑥給水原価
良質な地下水を水源としており、類似団体と比較しても低い水準で推移しています。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較しても高い数値となっており、有効に施設利用ができています。
- ⑧契約率
類似団体と比較しても高い数値となっており、有効な契約率となっています。

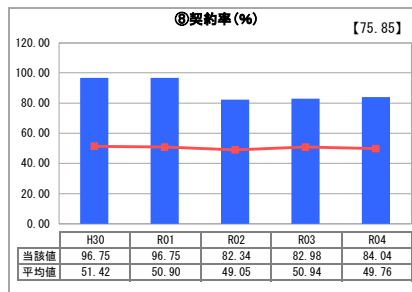
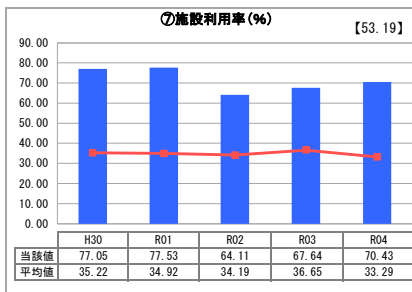
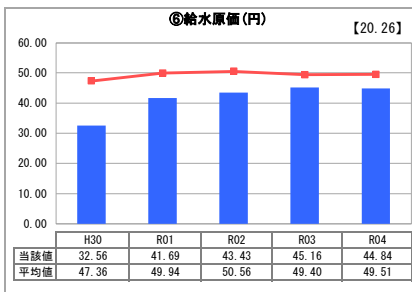
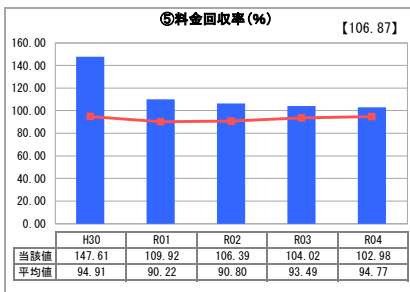
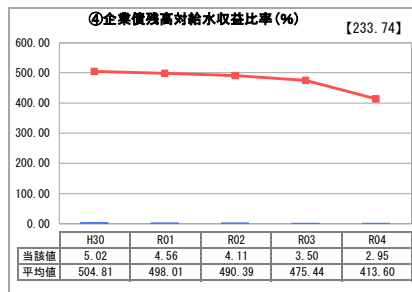
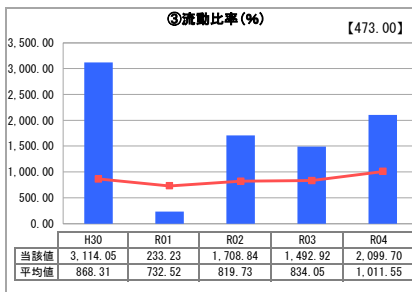
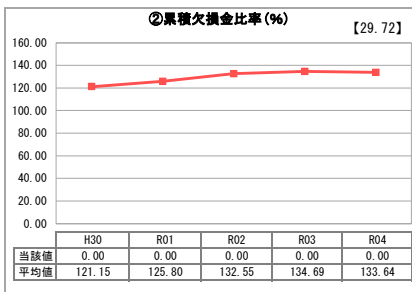
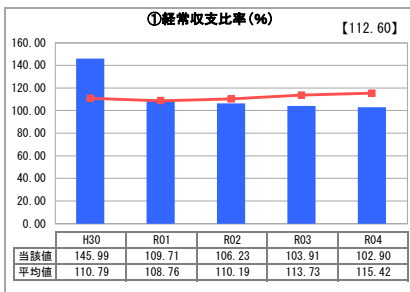
2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
新たな水源整備の投資によりR01年度に率は減少しているが、償却資産の老朽化が進んできており、経営戦略やR3年度に策定した更新計画を基に更新を行っています。
- ②管路経年化率
現在のところ法定耐用年数を経過した管路はありませんが、経営戦略等を基に更新を行っていく必要があります。
- ③管路更新率
当該年度に更新した管路はありませんでした。

全体総括

経営の健全性・効率性に係る指標を分析すると、概ね健全な経営ができています。ユーザー企業から契約水量の増加の要望があるため、新たな水源地の整備を検討しつつ、老朽化が進んでいる施設については経営戦略等に基づいた更新を行っています。引き続き、給水収益で効果的な事業運営を行うとともに、企業債の活用も検討しながら、施設・管路の更新を図り、健全で効率的な経営を目指します。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

